

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ティアンドエムサービス八尾倉庫新	階数	地上4F
建設地	大阪府八尾市宮町6丁目	構造	S造
用途地域	準工業区域、準防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2018年3月4日
敷地面積	3,976 m ²	作成者	岩岸克浩
建築面積	2,375 m ²	確認日	2018年3月18日
延床面積	6,253 m ²	確認者	岩岸克浩

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただき、外観画像を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 化石燃料を使用するような機器を使用せず、エネルギーの浪費を抑えたシンプルな計画とした		その他 シンプルな機構とすることによって環境への影響を抑える計画とした。
Q1 室内環境 0	Q2 サービス性能 大空間の作業域を確保することによって、機能性・快適性を確保した。 設備機器の配線もラックにて施工することにより更新性にも配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 外構に緑化域を設け地域の緑量を確保する計画とした。 また、庇の上部にも緑化域を設けてより確保に努めた。
LR1 エネルギー 化石燃料を使用するような機器を使用せず、エネルギーの浪費を抑えたシンプルな計画とした	LR2 資源・マテリアル 節水型の大便秘器(4.8/l)を用いる事はもちろん、リモコンも自己発電機能付きとして省エネにも配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地外に燃焼排熱を行う機器や、サインの照明を設置しない計画し、敷地外への影響を最小限に抑える計画とした。 また、倉庫業という用途から荷捌きエリアとトラックの回転エリアを十分に確保しつつ作業従事者や来客の駐車

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0163

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)ティアンドエムサービス八尾倉庫新築工事					
		建設地	大阪府八尾市宮町6丁目10番1の一部					
		用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
	CO2削減						4	
	省エネ対策						3	
	みどり・ヒート アイランド対策						2	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				2.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない		報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								